全姉連会報
18
姉属性専門誌
ZEN-ANE REN PRESENTS
ELDER SISTER ONLY MAGAZINE

全姉連会報 第１８号

表紙イラスト：姉月恩様

今回の表紙は3回目のご登場、姉月さんに巡音ルカ姉さんを描いていただきました。
漫画＋コメント付きのゲストページも頂いています。
ありがとうございます！

『ブラコンアンソロジー Liqueur -リキュール- Vol.2』

一冊まるごとブラコン漫画！　弟大好きなお姉ちゃん達が勢ぞろいしました。

『姉ログ 靄子姉さんの止まらないモノローグ』（田口ケンジ）

今度の姉は妄想系？　弟がシスコンで困ると勘違いするブラコン姉さんの止まらない妄想。

『バナナは姉に入りますか?』（まりお金田）

結論：バナナは姉に入りました。押しかけお姉ちゃんが挑む、真の姉への道。

『姉づくし』（結城焔）

結城焔先生待望の姉メイン単行本。ここにまた一人、新たな姉漫画家が誕生した。

『ひめくり』（糸杉柾宏）

ウブな少年が、おねーさんの優しいリードでなされるがまま。姉モノの男はDTに限る!?

『小野寺の弟、小野寺の姉』（西田征史）

三十路の弟、四十路の姉。独身姉弟の日常を通して描く家族の絆と思いやり。

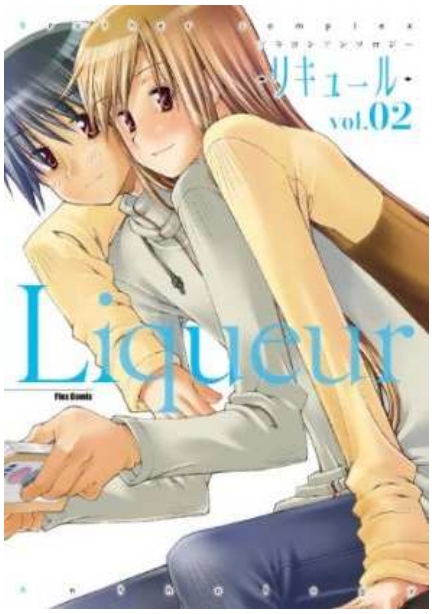
『姉ウエイトレス！ 姉の姉による弟のための洋菓子店』
（著・青橋由高／イラスト・あまかわあきと）

ネガティブな弟を更生するため、お姉ちゃん達3人、一肌脱いで頑張っちゃいます！

『あねあね水泳クラブ』（著・上原りょう／イラスト・有子瑶一）

スイマーの姉4人が弟にみっちり指導。水泳や、あんなことや、そんなこと。

全姉連のレビューは「姉萌え」至上主義。評価基準は、「姉萌えか否か」。
本文中で引用した画像、文章の著作権は、すべて各メーカー様、著者様にあります。



ブラコンアンソロジー
Liqueur –リキュール– Vol.2

著者	アンソロジー
発行	フレックスコミックス
発行日	2012 年 8 月 12 日

「あたしの恋を阻むのはあたし自身に流れる血。」

――叶わぬ恋に身を焦がす少女たちの姿を切なく、ときにコミカルに描く、オールブラコンアンソロジー第２弾！

■姉が少なすぎる……が！

いきなりだが、クレーム申し上げる！

「ブラコンアンソロジー」を看板に掲げながら、収録２４作品のうち明確に「姉弟」を題材にしているのは、全体の３分の１に過ぎない８作品とはいかがなものか！

うすうす気づいてはいるさ！　世間では姉萌えよりも妹萌えの方が多いこととか、アニメだってラノベだって「ホニャララ妹がなんちゃら」みたいな作品が垂れ流しになっていることとか！

でも、「ブラコン」という心躍る単語は、同じ近親属性として姉萌えも妹萌えも対等に共有したいんだよ！

兄妹作品数にダブルスコアとか、ショックだわぁー……。

この第２巻が出されたことは素直に嬉しいし、作家陣もよく分かっているなあと思わせる人選、作品の質も総じて上々、編集の中の人も姉属性がいるであろうことは伝わる。

だから、もうちょっと姉派の方を向いてもらって頑張って欲しかったのが正直な気持ち。

以上がクレーム。

企画自体は素晴らしいのです。一般向けでブラコンのアンソロジーですよ？

先ほど少しこぼしたように、作家陣も充実しているのです。

草野紅壱、kashmir、カザマアヤミ、よしだもろへ、渡辺静、雨隠ギド、五十嵐電マ、伊咲ウタ、壱号、位置原光Ｚ、大石中二、大朋めがね、風華チルヲ、狩野蒼穹、キダニエル、kima-gray、来瀬ナオ、桜沢鈴、たくじ、袴田めら、昼沖太、藤屋いずこ、巻田佳春、みりの。

姉漫画が好きな貴弟なら、目を引く名前がいくつかありますよね？（もし自分が企画者だったら、まだまだ呼ぶべき姉作家はいるのですが。貴弟なら誰を呼びます？）

この作家陣の手による、イチャラブ、シリアス、ドタバタと様々な趣向で繰り広げるブラコンパラダイス！

姉モノは８本だけですが、巻頭を飾り巻末を締めくくるのは妹モノではなく、姉モノ。全体的なクオリティは妹モノに負けていません。

では、収録されているいくつかの姉作品を紹介していきましょう。

■収録作品紹介

ある姉の不道徳（渡辺静）

早朝からキッチンに立ち、弟の弁当を準備するのは、高校生と思しき姉。遅れて起きてきたお気楽な弟は、その弁当を手渡され、姉弟そろって通学の時間。（リアル姉持ち、妹持ちに言わせれば、２人そろって仲良く通学など普通はしないと言うが、なんという貴重な思春期の無駄遣いであろうか！）

だが、そこには姉弟を見送る親の姿は見当たらない。というのも、姉弟の両親は２人を残して事故か何かで亡くなって……という葬儀の回想シーンが始まる。

孤児となった姉弟の引取先をめぐる、親戚間での押し付け合い。両親を亡くした上に厄介者扱いされる中、姉はこう言い放つ。

泣くばかりの弟と対照的な強い姉。

高校生の身で甲斐甲斐しく弟の面倒を見、バイトをして弟を養い、学校に通う姉。

ちょっとクサい家族ドラマのような展開でも、姉と弟が主人公となればウルウル感動してしまうもので、ホンマええ話やなぁとニセ関西人になったのもつかの間、あっと驚く見開きページが読者を襲う！

たった一人の保護者として弟を慈しみ育ててきた姉の、内に秘めた激情が赤裸々に。

本書の中では一二を争う優等生タイプのお姉ちゃんなのに、そのブラコン具合は過激にして不道徳（インモラル）。

これはある意味問題作。そして、本作を巻頭に置いた編集者は、読者の覚悟を試そうとしたのではないかと思えてなりません。

俺が姉につれない理由（風華チルヲ）

ブラコン姉４コマ『アットホーム・ロマンス』で姉業界に名を馳せたチル先生を呼ばずして何がブラコンアンソロジーか！

と念じたら実現しましたよ？

まあ、念じるまでもなくチル先生が呼ばれることは既定路線だったようです。

姉漫画家としての矜持か、お姉ちゃんは２人も登場。つんのめって小さい妹まで登場させてます。（「ロウきゅーぶ！」の影響と思われる。）

ブラコン過剰な双子の姉は、弟にかまってもらいたがりで、いつもお互いに張り合ってばかり。

しかし、弟は幼い妹に構いっきりで、姉２人にはどうもそっけない。

愛する弟に何とか構ってもらおうと、姉たちは（愚）策を練るが……。

ブラコン姉の奇行を描かせたら第一人者である風華チルヲ先生らしい漫画。一般人には付いていけるか不安なノリでも、このブラコンアンソロジーを手に取るような読者なら微笑ましく読めるはずです。

勇者のお姉ちゃん（Kima-gray）

召喚魔法によりドラクエのような世界へ召喚されてきた勇者＝弟と、一緒に付いて

きたお姉ちゃん。

魔王を倒すための旅にお姉ちゃんと共に出発するが、カッコ良くて大事な弟勇者を守るためお姉ちゃんの秘められた能力が炸裂して……というもの。

こんな感じのコミカルな漫画もアリなのが本書の特徴。

弟のためならどんなことでもできてしまう強いお姉ちゃん、というブラコン姉の魅力を端的に表した作品です。

月香と陽太～最強の姉～（桜沢鈴）

小さい頃から共働きの両親に代わって、病弱で気の弱い弟の面倒を見てきた姉。

姉は頭も良ければ度胸もあり、弟をいじめる子がいれば追い払って成敗してくれる、弟にとって尊敬の対象だった。

「お姉ちゃんはなんでも一番だ!!」

自分を慕ってくれる弟の笑顔にキュンと来た姉は、一生この子の一番でいようと心に誓う。

十年の月日が流れ、弟の一番になるためたゆまぬ努力を積み重ねた姉は立派なブラコンに育ち、弟にたかる悪い虫を追い払うため気が休まらない日々を送っている……。

このお姉ちゃんの立派なところ、それは、自分が弟の憧れの存在であり続け、万が一にも期待を裏切らないよう頑張っているところ。

「未来の後輩に、あんまり格好悪いとこ見せられないものね！」（巴マミ，2011）

この台詞、未来の後輩を弟に置き換えても同様。たとえ虚勢を張ってでも、姉として弟を失望させることはできないと頑張る姿が姉好きの心を打つのです。

今年からは妹（狩野蒼穹）

季節は夏の盛り、時期で言えばお盆の頃。帰省で田舎に来ていた秋雄は、夏美お姉ちゃんに絡まれていた。

どうもこのお姉ちゃん、夏休みだけ会えるような親戚のお姉ちゃんのような感じ。

「いいこと考えた。あたし妹になるわ」

思いつきで変なことを始め困らせるようなお姉ちゃんらしく、秋雄は「何いってんの」とあきれ気味。

いかにも狩野蒼穹先生らしいヘンなお姉ちゃん。姉専業の漫画家として呼ばれてきた割に妹絡みのネタとは挑戦的な……、と思ったのですが、兄妹ごっこに込められた真の意味を語るラスト２ページで土下座級の勘違いであることが発覚。

わずか８ページの短編に、姉でなければできない、姉ならではのネタを仕込む狩野先生の傑作姉漫画です。

■少数精鋭のブラコンアンソロ

ここに挙げきれなかった、三角関係的な姉漫画、実らない切ない弟愛漫画なども収録されています。

数では負けこそすれ、ブラコン姉の魅力の詰まったアンソロジーでした。

姉ログ

霧子姉さんの止まらないモノローグ

著者	田口ケンジ
連載	週刊少年サンデー
連載開始	2012 年 9 月 19 日

弟に惚れられてると勘違いする女子高生、近衛霧子。

そんな霧子のモヤッとした日常を描くショートコメディー！

■危険な妄想系お姉ちゃん

本格的にヤバい姉が登場しました。

ブラコン、シスコンの気がある姉弟が、「弟を部屋に誘い込んで押し倒し……」や、「うたた寝している姉ちゃんのスカートを……」のように欲望に忠実な妄想はいつだって誰だってするもので、お医者さんに診てもらう必要はありません。

しかし、「相手は自分のことが好きに違いない」という被愛妄想は危険。放っておくとどんどんヤバくなっちゃうのに、黄色い救急車が呼ばれないまま、深刻な妄想が胸とともにすくすくと育ってしまったＪＫ姉が、この『姉ログ』の主人公、霧子（もやこ）姉さん。

モヤ姉の前では、弟の言葉はすべて「姉の私を狙う変態のシスコン弟」に変換されてしまう。

そんな歪んだ思考回路を持ってしまった姉の悲劇を楽しむ漫画です。

■霧子姉さんの止まらない妄想

『姉ログ』は、週刊少年サンデー連載・１話６ページの読み切りショートコメディ漫画。Web コミックサイト・クラブサンデーで連載の姉コミック『DCD』の作者で、前号の会報の表紙を描いてくださった田口ケンジ先生が放つ、「異色」の姉萌え系作品。

普通、ヒロインである姉がブラコンであることを表現しようとすれば、弟をガンガン甘やかすダダ甘お姉ちゃんだったり、弟を下僕のように扱うが実は弟を大事に思うツンデレ姉だったりするもの。

つまり「姉から弟へのアクション」の過剰さや特殊性を表現するのが中心でした。

ところが、霧子姉さんは、弟・輝（あきら）の何でもない一言や仕草をすべて姉萌え方向に変換し、弟を変態扱いして勝手に舞い上がる、誰一人止めることのできない自己完結型の妄想系ブラコン姉なのです。

大体、「ボクしょーらいモヤコお姉ちゃんとケッコンするー!!」なんて可愛い弟の一言すら「**姉である私に求婚し、愛の契りを交わそうとしているド級のヘンタイ弟**」と断定してしまう姉なのです。

【ケース１】

朝、寝ている輝を起こしに行った姉。なかなか起きない弟の様子を見て「これは幼なじみキャラ的プレイを強要する弟の罠!?」と思い込む。（弟、寝てただけなのに！）

そうこうしているうちに寝返りを打った弟を見て「まさか「姉さん、ベッドに入って来いよ」アピールぅ!?」と思い込む。（弟、おちおち寝返りも打てない）

【ケース２】

ゲームに夢中で、風呂なら先に入んなよ、と姉に順番を譲る輝。「まさか、私のお風呂を覗こうとしている……？」と疑い、きちんと鍵をかける姉。まあ、ここまではモヤ姉でなくても思い付くレベルだし、現実に多発する事態であるからよしとしよう。

しかし、湯船に浸かると、彼女の残念妄想回路がうなりを上げる。

姉の風呂覗きなどはフェイク、真の目的姉の残り湯だと結論をはじき出す…。

この他にも、姉の体育の授業中、教室の窓越しに輝の横顔を見つけて、「弟は私のうなじを上から見下ろすヘンタイ弟」と決めつけるわ、一緒にテレビを見ていて出てきた「夫婦漫才」の言葉に激しく動揺するわ、もう大変。モヤ姉の前では、呼吸すら「姉の吐いた息を吸うヘンタイ」と断定されてしまいかねないのです！

そんな一方的かつ閉鎖的な姉の妄想がメインに繰り広げられるコメディですが、姉萌えに理解のある諸弟なら、これがハイレベルのブラコン姉生態観察漫画であることは容易に読み取れるはず。

口にするのもためらうほど当たり前のことですが、弟は姉萌えのヘンタイなどではなく、姉が弟萌え過ぎるんです！

本当は重度のブラコンなのに、近親間のタブーに苦しんだ結果、「自分はブラコンじゃないけど、弟がシスコンで困る」という設定を作り上げてしまった、かわいそうなお姉ちゃん。

妄想がひどくなればなるほど、それだけひどいブラコンなんだと伝わってきて、お姉ちゃんがパラノイア可愛い。

姉自身はブラコンであることを認めはしないものの、時々本心をポロリすることもあって、あたふたする姿もまた素敵です。

素直になれない面ではツンデレと似通うも、弟に惚れられていると妄想する姉は今までにないタイプ。姉萌え界に今あたらしい世界が開けました。

■衝撃的な姉萌えコメディ

１ページ目「（弟の）何気ない一言」「……。」→２ページ目「ハッ、そうか、これはッ！」と、まるで敵の策略に気づいたかの様子がまず可笑しい。サスペンス漫画『DCD』譲りのシリアスなシーンの見せ方が間違った方向に利用されています。

姉漫画家・田口ケンジ先生が姉属性の読者に送る、６ページで姉に萌え、姉で笑わせる漫画『姉ログ』でした。

バナナは姉に入りますか？

著者	まりお金田
発行	チャンピオン RED コミックス
発行日	2012 年 10 月 15 日

“お姉ちゃん”がいきなりできちゃった!?

ニートで完全引きこもりパラダイス状態の悠二の家に突然やって来た見ず知らずの姉!!　しかも二人も！

悠二の家（城）の主（王子）としての平穏な日々は崩壊して苦手な姉二人が世話を焼こうとする!!

悠二に待ち受けるのは天国か地獄か？

彼女たちは一体何者なのか？

そしてその目的とは…!?

■これ絶対入ってるよね？

『バナナは姉に入りますか？』

この物語は、バナナを姉に入れてもらいたいと奮闘する姉、さらにはリンゴまで姉に入れてもらいたいと迫ってくる姉まで登場し、姉二人に挟まれた主人公・悠二のうらやましい戸惑いの日々を綴った漫画です。

結論から言うと、第１話からバナナは姉に入りました。悠二は認めていないようだけど、絶対入ってます。

チャンピオン RED いちご誌連載の姉漫画は何かと物議を醸す挑戦的な作品がありますが、今度もやってくれました。

ぜひ貴弟もその目で、バナナは姉に入っている事実を確認していただきたい！

■「姉」にこだわりあり！

親が多忙で実質独り暮らしの主人公・悠二は、引きこもりニート生活を謳歌していたが、彼の城に前触れもなく女性が現れる。

「おはようユージ！　アタシは大場奈々!!今日からあんたの姉よッ」

おお、バナナ……？　聞けば、悠二の母に頼まれ、姉として一緒に住み始めるのだという。

見覚えのない顔なのに、我が家のように家へ上がりこむ彼女。

来て早々、悠二に荷物運びをさせたり、「お前、じゃないッ、お・ね・え・ちゃんッ!!!」と姉弟間の呼び方についてしつけるバナナ姉は、なかなか言うことを聞かない悠二に対し、マウントポジションで教育的指導!!

「姉の尻に敷かれる弟」の姿が、精神的にも視覚的にも大好き

な小弟にとっては、もうこの時点でバナナは「姉」に入っていました。

押し掛け姉。このタイプは、「親の再婚型」でよく見られるように、珍しいものではなくて、むしろ定番。ただし、血縁もない、面識もない、共に生活してきた時間もない他人が、いったいどうしたら姉と呼べるのか。ここが難しいところであり、しかし上手く成功すれば、実の姉弟とはまた違う姉弟像を見ることができるジャンルなのです。

押し掛け型が失敗作に陥いるのは、「外見が幼い」「無理な背伸びをして失敗を繰り返す」「男の方が支えてあげたくなる」要素が揃っていることが多いのに対し、問答無用の姉御肌を持っているとか、圧倒的な母性のオーラをまとっているとか、元から強力な姉個性を持っている方が、当たり前とは言え、成功しやすいのです。「小さくて頼りないけど頭が上がらないお姉ちゃん」が通用するのは、ちゃんと血縁関係がある等の裏付けがあってのこと。

その点、バナナ姉は登場から主導権を握り、有無を言わさず姉と弟の関係を叩きこみ、口答えする弟には身を持って指導。一方では悠二のために料理もできて、お風呂で背中を流してくれるサービスもありと、怒涛の姉攻撃。

肝が座っている上、Hなことにもそれなりに耐性がある、姉気質を十分に持ちあわせているのがバナナ姉なのです。

ただ一つ、努力ではどうにもならないのは、なんと彼女が悠二の２歳年下であるという事実。どんなに姉であろうと頑張っても悠二の年下であることが悔しく、また悠二に対しても申し訳なく思う気持ちから、泣いてしまうことも……。

しかし、頼もしいお姉ちゃんたるもの、弟の前で泣いてはいられない。たとえ年下であろうと、アタシは悠二の姉になりたい！　この力強い決意表明により、彼女の、ひいてはこの作品の「姉」に対する本気度を感じ取ることができるのです。

さて、忘れてはならないもう一人のお姉ちゃんが登場します。

その名も、赤井鈴子、通称リンゴ姉。

彼女もバナナ姉の後を追うような形でやってきた、押し掛けお姉ちゃん。活発で強気なバナナ姉とは対照的に、おっとりゆるふわ系の柔和なお姉ちゃんで、弟のすることなら、何でも受け入れてくれる。

バナナ姉が対抗心を燃やすこともあるが、基本的に協力体制を築いて、２人の姉として悠二を可愛がってくれます。

■お色気だけではない姉漫画

サービスシーン満載のお色気ラブコメディが主軸ではあるのですが、姉要素はおまけではなく、きちんと意識されています。

バナナ姉が「姉」にこだわるのはなぜ？　２人は一体何者？　そしてこの後、３人目の姉候補が登場！

既に雑誌付録でドラマＣＤ化を達成していたりと、今後の展開が非常に楽しみな姉漫画でした。

姉づくし

著者	結城焔
発行	セラフィンコミックス
発行日	2012 年 11 月 22 日

尽くしまくりの姉だらけ！

「外で変な気おこさないように—お姉ちゃんがすっきりさせてあげるから……っ！」

「ずーっとずーっとお姉ちゃんと一緒だよ」

「弟なら素直に我慢しないで甘えなさいっ！！」

■結城焔先生待望の姉新刊

「姉もの描ける場所がなかったので持ち込みしたりとやっとこ単行本出せるまでにこぎつけられました」（あとがきより）

姉単行本発売、おめでとうございます!!

本書の著者・結城焔先生は、以前から、姉に理解のある、同じ志を持つ先生と注目していましたが、この度、大々的に姉萌えを掲げた単行本が発行されました。

先生の素晴らしい点は、姉属性の喜ぶキャラクター作りと画風だけではありません。姉弟が姉弟であることを実感させるエピソードや掛け合いにもきちんと力が入っているのです。

おっとり甘甘、活発元気系、厳格ドＳ風等々バラエティーに富むブラコンお姉ちゃん達が弟と激しく愛しあう姿を描いた新刊です。

■各話紹介

お姉ちゃんたいふーん

２か月前に両親を失ったショックからいまだに立ち直れない弟。

そして、彼を引きずり出そうとするお姉ちゃん。

弟「オレの事なんか放っておいてくれよ！」
姉「たった一人の家族なんだから、放っとけるわけないじゃない」
弟「嘘だ！　どうせ姉ちゃんは結婚して出てっちゃうじゃないか……っ」

弟、駄々っ子なシスコンだったようです。

筋金入りのブラコンお姉ちゃんは、ずーっと弟クンの側に居てあげるんだからと諭すが、それでも聞き入れない弟に優しく態度で気持ちを伝える……。

元気いっぱいの姉、弟の尻を叩く姉、慈愛に満ちた姉、そして淫美な姉。

いくつもの顔を持つ姉を、巧みに一編にまとめたストーリー。お姉ちゃんの七変化に注目です。

姉風びゅうびゅう

クラスメイトの女の子と自宅でテスト勉強していた弟。思わせぶりな態度で彼女が彼に接近しようとした瞬間、現れたのは姉さんだった！

ビシッと決まったスーツ姿、クールな表情に細い眼鏡が似合いすぎる。

よその小娘に対して不快感をあらわにし、さっさと帰れと女を追い払う姉。そして始まる恐怖の弟尋問タイム！（弟は正座）

「先刻の女は一体あんたの何なわけ？」

姉さんかなり嫉妬していらっしゃるっ！

きつく弟を叱りつけながらも、最後はだいすきっ、と叫んで昇天してしまう、怖くて可愛いお姉様。

姉に厳しく叱られたい、ただし愛のある叱り方で、というわがまま男子向けです。

お姉ちゃんDVD

弟を留守番にして旅行に出かけるお姉ちゃん。「お姉ちゃん心配だわ」の声にそっけなく「さっさと行ってこいよ」と弟。

姉が出かけると、弟の目が輝き出す。

「姉さんのいない間に姉ものＤＶＤで思う存分夏休みライフを満喫してやるぜ……!!」

お前、シスコンだったのか！（握手）

しかし、弟の買い出し中にお姉ちゃんが急に帰ってきてしまい、弟がこれからしようとしていたこと、そして、隠していた姉属性がバレてしまい……。

ＤＶＤなんかじゃなく本物のお姉ちゃんが目の前にいるんだからっ、と誘惑する姉。

弟の反抗的な態度も実は単なる照れ隠し、の類に過ぎず、お姉ちゃんに甘え出す。本当は姉ちゃんのことがずっと好きだったんだ！　そして姉も積極的に弟を受け入れる。

一つのハプニングをきっかけに、一緒に暮らしてきた姉弟が、実は相思相愛だったことに気づき、一線を踏み越える。近親萌えのロマンですなぁ……。

お姉ちゃん！天国 PR編

結城焔先生がコミック阿吽で連載する、『お姉ちゃん！天国』の３人の姉を１人１ページずつ紹介したＰＲ漫画が巻末に掲載。

■今後一層の活躍に期待！

先生の次の新刊は、上で紹介した『お姉ちゃん！天国』とのこと。

本書と次の新刊で、姉漫画家としての知名度が上がることは間違いないでしょう。

今後も素敵な姉コミックを描いてくださるよう応援したい先生です。

ひめくり

著者	糸杉柾宏
連載	ヤングコミック
発行日	2012 年 11 月 23 日

思春期、性の目覚め、おねえさんと僕が紡ぐ「非」日常！Ｈマンガの金字塔糸杉柾宏が描く禁断インモラルラブ！「年上至上主義」「お姉さんに甘えたい」「マグロでありたい」「エロい事がしたい」こんな貴方にオススメ

■おねーさんになされるがまま

糸杉先生お得意の年上ヒロインがたっぷり登場する、おねーさまオンリーコミックが発売されました。

一般向けの限界に挑戦したというか超えちゃったというか、あの『あきそら』後、初の姉系単行本です。

今回も黄色い楕円マークなしですが、内容は事実上成人向け。

１話ごと読み切りで、年上女性×ウブな男の子の行きずり or 幼なじみ or 実姉弟?間のＨな情景を描くオムニバス形式です。

出版社公式のオススメ読者が「年上至上主義」「お姉さんに甘えたい」「マグロでありたい」「エロい事がしたい」。

なんだ、オレのことじゃないか。

「年上至上主義」「お姉さんに甘えたい」は全姉連会員諸氏ならば当然、「エロい事がしたい」も健全な男子なら当然。

特徴的なのは「マグロでありたい」。

そうです、『ひめくり』収録作品の共通点は、**男の子はおねーさんになされるがまま**、ということなのです！

おねーさんを押し倒そうとか、主導権を握ろうとか、そんなことを考える男の子は一人もいません。

おねーさんの甘い誘いにどぎまぎし、照れに照れて顔を赤らめ、「ここよ」と場所を教えてもらいながら優しいリードで初めてを迎える……。そんな展開が各話を通して基本形になっています。

可愛い年下男子ぶっておいて、事に及べば「お前、なんでそんなに手馴れてんの？」と言いたくなるようなあの違和感は一切ありません。

オタク世間には処女厨なんて信仰がありますが、ならば我々は童貞厨になろう。

おねーさんに手取り足取りされ、「おいで」と誘われれば、その先にあった未知の感覚に戸惑い、感極まる少年。

ヤバイ！　いいな、これ。やっぱり姉モノの男はＤＴに限る！

おねーさんが経験豊富かどうかは問わないんだ。仮に初めてであろうと、年下の男の子の手前、見栄を張ってリードしようとする年上の心意気があればいい。

本書は、こんなウブなＤＴ少年がおねーさん達に誘惑されて大人の階段を登る、夢と希望の一冊です。

■各話紹介

各話のタイトル名はヒロインのおねーさん名になっています。

関谷まなみ

本書がマグロ願望男子向けのシリーズであることを否応なく示す第１話。

だって、主人公の男の子が施術台にマグロのごとく寝かされて、セラピストおねーさんに性的マッサージを受けてしまう話なんですもん。

店の待合室で見かけた、好みの男の子に声をかけると、得意のマッサージテクで彼に“解毒”をし、最後は馬乗りでフィニッシュ。男の子は終始寝かされたままです。

木下あかり

隣のお姉さんモノ。

夏の夕暮れ、水着姿のおねーさんに「プール行こっ」と誘われたが、そのプールとは庭先のビニールプールだった……。

仕事が忙しく、夏らしいことが何もできなくて、「夏の思い出が作りたい」と狭いプールの中で少年を押し倒すおねーさん。

そして明かされる、ずっとこうしたかったという想い。もちろん彼も、初恋のおねーさんになされるがままに……。

柊ユキ

３か月前に結婚した姉ちゃんが遠い存在になってしまったと感じている少年。

とあるきっかけで姉の新居に上がり、姉弟２人の時間を過ごしているうち、お姉ちゃんは弟に手ほどきを……。

弟が年不相応にウブなのと、すでに人妻となったお姉ちゃんの余裕の対応で、本書のコンセプトがよく現れた話です。

藤崎アヤメ

お姉ちゃんに茶道を習っているうちに、茶室でそのまま……という話。

下のコマで、いかに本書がマグロ志向であるかがお分かりになるはず。

■あの頃に帰りたい

『あきそら』とは違って重い展開もなく基本的に明るいストーリーで、おねーさんに美味しく食べられる少年たちばかり。

思春期を飛び越えておっさんになった貴弟でも、青臭い少年に戻った気持ちで読める姉コミックです。

小野寺の弟・小野寺の姉

著者	西田征史
発行日	2012 年 2 月 18 日
発行	リンダパブリッシャーズ

東京の片すみ、

木造一軒家に二人で暮らす小野寺進と小野寺より子の姉弟。

結構な歳だけど結婚できずにいる二人は、特別仲がよいわけでも、悪いわけでもないけれど、なんだか支えあって暮らしている。

ある日、そんな小野寺家の郵便受けに間違って配達された一通の手紙。二人はその手紙を届けに行くことにするのだが―。

引っ込み思案な弟と、こだわりが強く生命力の強い姉の、さえないけれど、ささやかな幸せが香る日常を描いた物語。

■ラノベにあらず。しかし……

ハードカバーの小説を紹介するのは初めてでしょうか。

活字本といえば最近はもうライトノベルか文庫本くらいしか読まなくなっていませんか？

あざとい表紙イラストも口絵も挿絵もない、見た目には色気もないのですが、内容は姉弟愛で満杯の小説なのです！

姉弟愛って言っても、姉ゲーに期待するようなエロスは皆無。姉弟が互いに互いを思いやり、唯一無二の家族として生きている姿が描かれている一冊です。

■三十路の弟、四十路の姉

東京の住宅街。引き戸の玄関、ぎしぎし軋む廊下、トイレは和式という昭和満載の木造一軒家が、主人公姉弟２人の住む家。

姉は小野寺より子・４０歳。小さな眼鏡店の販売員。髪はおかっぱ。言いたいことは言う方。堅実な性格で、流行に流されないタイプ。

弟は小野寺進・３３歳。調香師として会社に務める普通のサラリーマン。天然パーマでやや内向的。子供の頃は、姉のいたずらを受けて殺意すら覚えたこともあったが、今は姉ちゃんの言うことに逆らえない三十代メガネ男子。

目立った特徴もない、ただひたすらに地味な舞台と登場人物の姉弟２人の、珍しくもないありふれた日常と、その背後にある山よりも高く海よりも深い姉弟の優しい思いが交差する様子を描く作品です。

あ、四十路・三十路の未婚姉弟が二人暮らしをしているのは珍しいことかも知れませんね。

おそらく両親が早くに他界し（ラノベなら両親の海外転勤であろう）、姉がモノを大事にする性格故の古い一軒家で、どちらかが出ていくこともなく住み続けた結果。まずこの設定に惹かれます。姉弟の結婚は認めない国だけど、姉弟は結婚なんてしなくていいからなんです。結婚よりも強いつながりが姉弟にはある。

小野寺姉弟の生活は至って普通。所帯じ

みた庶民的生活と、家ごとの独自ルールが合わさって、リアル感が漂います。

今も二段ベッドを使う姉。

お一人様１パックの特売玉子のため引っぱり出される弟。

姉弟で何かを決める時には、オセロで決着をつける。

姉ちゃんが黒、俺が白。これも小学生の頃から変わっていない。休日の朝から二人でオセロに興じる姉弟。四十代に入った姉と三十代中盤の弟。共に未婚。一体何をやっているのだろう。

いい年した姉弟が休日に本気のオセロ。いーじゃないですか！

「いい年した姉弟が」のシーンは本書のあちこちにちりばめられていて、いやそもそもこの物語全体がそういうテイストなんですが、これが姉弟萌えには燃えます。

商店街の福引で当たった花やしき遊園地ペア招待券で、お弁当と水筒を持って遊びに行く四十路の姉と三十路の弟。

毎年クリスマスイブには、こたつに入りながら英語禁止ルールで桃鉄に興じるのが恒例の四十路の姉と三十路の弟。

手編みのマフラーを編む四十路の姉と、実はそのマフラーを贈られる相手だった三十路の弟。

姉弟げんかをした時だって、その仲直りのシーンなんか、いい大人なのに萌え系ラノベにも劣らない姉萌えを誘います。

もう結婚して子どもがいてもおかしくない、四十路の（以下略）が今も家族として生活している姿がなんとも微笑ましくて、もし自分が姉のいる弟に生まれ変わったら、これが理想像と思ってしまう、そんな姉弟が描かれています。

■互いに思いやる優しい姉弟

歳を重ねた姉弟の生活感あふれる姿ばかりが見所ではありません。

この小説の中心にして最大のテーマは、互いに相手を思いやり、いたわりあう姉弟の優しい姿。

毎日早起きの姉が、休日は寝坊気味の弟のために雨戸を開ける時間を遅くするとか、そんなささいで目に見えることはもちろん、もっと根本的な、相手の幸せを願う心がところどころ見え隠れするのです。

本書は全８章構成で、１章ごとに姉視点と弟視点で入れ替わります。これが実に巧妙。１つの事柄に対する２人の異なった見方、感じ方を読むことになるのですが、この構成が最も活かされたのは、姉お手製の「酢味噌の栞」の一件。

姉が栞に込めた思いと、弟が栞について抱く思い。その思いはすれ違っているのだけれど、通じ合っている。逆説的な言い方ですが、決して間違っていないはず。

ところで、独身の姉弟でも、弟にはかつて親密に交際していた女性が、姉には現在気になっている男性が存在します。

しかし、弟が彼女と別れた経緯とその後遺症には姉の存在が大きな意味を持ち、姉の恋の行方の結末は弟が一番美味しいところを持っていく始末。

小野寺姉弟、どうやら一生２人で添い遂げることになりそうです。

■心温まる姉弟の姿

なお、著者の西田征史氏は、映画、ドラマなどの脚本家で、最近では『TIGER & BUNNY』の脚本を執筆された先生。

と言っても、タイバニのイメージとは程遠い地味な姉弟を繊細に書き綴った、心温まる小説です。

中年に片足踏み入れた姉弟だからこそ生み出せる深い姉弟愛をぜひ読み込んで味わってください。

姉ウエイトレス!

姉の姉による弟のための洋菓子店

著者	青橋由高
イラスト	あまかわあきと
発行	フランス書院美少女文庫

「どんな注文もお姉ちゃんウエイトレスが叶えてあげる！」

パティシエあまあま長女の陽子が！

モデルツンツン次女・杏菜が！

黒猫にゃんにゃん三女の泉が！

勢揃いで贈る夢のトリプル姉ハーレム！

初体験はいきなり４Ｐ

毎晩抜け駆け禁止の３Ｐ三昧

姉ラブな洋菓子店へいらっしゃい！

■青橋先生の順番が来ました

ジュブナイルポルノ大手の美少女文庫の中でも、姉ノベルを書いてくれる日を心待ちにしている作家といえば、もちろん青橋由高先生であります。

そもそもライトＨノベル界の姉モノに目を向けるようになったきっかけが青橋先生の作品で……おっと、自分語りはお呼びじゃない。何が言いたかったかというと、青橋作品こそが美少女文庫の姉ノベルの象徴だってことなんです。

しかし、先生は姉モノに限らず、妹、メイド、トリプルシリーズと全方面で活躍されているので、姉の順番が回ってくるのは１年に１度。

このレア感、分かってもらえますか？

そんな待望の 2012 年度新刊がこちら、『姉ウエイトレス！』。

今作もヒロインは姉オンリー。たっぷりと味わい尽くしてください。

■弟のために頑張る姉３人

主人公・啓司は、幼い頃に沖家に貰われてきた養子。

沖家には、啓司より年上の３姉妹がいた。新しく弟になった彼に三者三様の可愛がり方をしていたが、ある日……という状況。

サブタイトル「姉の姉による弟のための洋菓子店」を見て、青橋先生の『好き好き大好きお姉ちゃん』を思い出し、それはそれは甘甘のベタ甘お姉ちゃん３人の糖分過多な新刊をイメージしていたのですが、今回は少々違います。

あ、間違っても、お姉ちゃんが甘甘じゃないとかブラコンじゃないとかじゃないですよ？　今回のお姉ちゃん達も重度の弟依存症ばかりですし。

本作の中心的なストーリーは、“ネガティブで卑屈な弟に自信をつけさせようと頑張る姉３人”。

「では、第百八回姉会議を始めます」で幕を上げる序章。（「姉妹会議」ではないことから、この会議の趣旨は理解できよう。）

胃潰瘍と対人恐怖症で倒れた啓司は、治療のために両親から独り暮らしを命じられるが、弟と引き離されてしまったお姉ちゃ

んズはさてどうすべきか、が議題。

議論の末、結局弟の引越先へ押し掛ける姉３人。

「けーくん、お姉ちゃんだよー」
「こらケイ、いつまで待たせるつもりなのよ」
「啓ちゃんが一分以内にここを開けなかった場合、非合法手段で鍵を開けます」

そもそも、弟が自分を過剰に卑下し、胃に穴が空くほど周囲に気を遣いすぎたのは、優秀な姉たちに引き換え自分は、という劣等感とコンプレックスから抜け出せなかったから。内に閉じた思考は、自分を姉の迷惑でしかない弟と思い込み、姉弟の溝を深めてしまったのでした。

有望な若きパティシエールの長女・陽子姉、美貌を誇るモデルの二女・杏奈姉、生徒会長を務める秀才の三女・泉姉。

確かにこれだけの才女の下に育った弟の苦労は大きいかも知れない。

……ところが、お姉ちゃん達は必ずしも生まれつきの才女揃いではなかった。

「あのバカ、知らないのよ。出来のいい弟がいる姉がどんだけ苦労して見栄を張ってきたかなんて。尊敬されるお姉ちゃんを演じるのがどんだけ大変か」

そう、実はお姉ちゃん達の方が、出来のいい弟に失望されるような姉であってはならないと、必死に頑張ってきたのでした。

姉たる者、弟からは尊敬され、模範となる存在でなくてはならない。弟がやってきたことで芽生えたその姉意識が尊い。まして「良いお姉ちゃんでありたい」と思う気持ちが弟魂（ブラコン）ゆえに生まれてきたものだと想像するとき、姉属性読者の小弟は激しく萌えるのであります！

姉の苦労も知らず、自分を貶めて悩む弟に自信を付けさせるにはどうすべきか？

それはほら、これは美少女文庫の作品ですから、言わずもがな。荒療治と称して一計を案じた３人の姉は、弟が立派な人間であることを信じさせると同時に、積もり積もった弟への愛情を爆発させるのでした。

ここで、お姉ちゃん３人の紹介。

長女・陽子姉は甘甘マイペース母性型。甘い洋菓子作りが得意で、規格外の豊乳持ちなのは、その性格をよく表すかのよう。時々語尾に「―もん！」と付けるのは痛いと二女からツッコミ受けるお年頃。

「ほらほら泣かないの。けーくん、男の子でしょ？　ううん、昨日お姉ちゃんが大人の男にしてあげたもんね」

二女・杏奈姉は現役モデルの女子大生で、言いたいことははっきり言う姉。ツンデレ的独占欲大。弟の困る顔と泣き顔が好物だが、それにはきちんとした理由が……。それは本書を読んで確かめてみてください。

「好きだからいじめるの。ケイの嫌がる顔とか痛がる顔とか困った顔が好きなの。大好きなの。お前をいじめていいのは世界であたしだけなの。姉であるあたしだけよ」

三女・泉姉は弟と同じ学校に通う優等生。比較的おとなしめだが毒舌家。弟の部屋の侵入、ケータイ・パソコンの点検、陰からの見守りは、きっと姉としての義務的行動。

「人をストーカーみたいに言わないでください。私は純粋に可愛い弟のすべてを知りたいだけです。愛ゆえの行動です」

■姉と弟のぶつかり合い

姉の苦労、弟の苦悩がぶつかり合い、姉弟の関係が一層深まるという硬派な側面と、ブラコン姉による甘々な可愛がりという軟派な側面。それらがバランスよく詰め込まれた姉ノベルでした。

「お姉ちゃんが大人にしてあげる」×４!?

ぽわぽわ美雪（25）、クールな玲（23）、脳筋元気な舞（19）、ツンツンな祥子（17）が体位も色々、はじめてを捧げてくれる、夢の水泳教室！　プールで競泳水着、スク水で　混浴ビーチでビキニ　巨乳の水着姉たちが甘く誘惑、スペシャルハーレム！

あねあね水泳クラブ

著者	上原りょう
イラスト	有子瑶一
発行	フランス書院美少女文庫

■お姉ちゃんの水着姿が

水泳界では知らぬ者のいない名門の九鬼家の美人４姉妹。そのもとに、実の両親を亡くし養子として引き取られてきた主人公・和真。

水泳の実力はない彼は、姉たちのマネージャーとしてサポート役に徹してきたが、ある日、男子水泳部員に姉を侮辱されたことをきっかけに水泳勝負を挑まれることになって、お姉ちゃん達の特訓が始まった、というストーリー。

上原りょう先生のハーレムシリーズの流れを汲む、姉いっぱいの作品です。

■ハーレム満載すぎ！

まずは姉４人の紹介から。

長女・美雪お姉ちゃん(25)は癒し系の優しいおっとり型。物腰柔らかく、「あらあらうふふ」がよく似合うお姉ちゃん。長女の威厳は桁外れの豊胸にあるといえよう。

二女・玲お姉さまは、クールで逆らいがたい女王様。彼女の前では自然に背筋が伸びる、九鬼家の鬼の副長というべき存在だが、長女には逆らえず、弟には結局弱い。

三女・舞お姉ちゃんはボクっ娘で駄々っ子、難しいことは考えられず、ストレートに弟を求める野性的なお姉ちゃん。

四女・祥子姉さんは照れ屋で素直になれないツンツン姉。恥ずかしがりで積極的になれないが、他の姉が弟といちゃついているのは我慢出来ず、つい大胆に。

この魅力的な姉４人に囲まれ、どこかの軽音部のごとく練習そっちのけでひたすら水着姿でイチャラブする甘々の日々が繰り広げられます。

特筆すべきは、各章とも、する時は４人のハーレムＨ、が貫かれていること。

今度は私が、いーや次はアタシが、いやボクが、と弟を巡って目くるめく官能の世界がそこに！

そんなわけでＨなシーンは質・量ともに豊富なんですが、引き換えに個々の姉と弟との関係やエピソード、姉と姉同士の駆け引きや団結を見せる描写が追いやられてしまったようで、それはもったいない。

お姉ちゃんはいっぱい欲しい、けれど一人ひとりのお姉ちゃんとの関係も掘り下げて欲しい、というわがままにとっては、ハーレムは最終章のお楽しみだけにして、その分じっくり読ませてくれたら、と考えさせられる１冊でした。

今回で３度めの表紙を
描かせて頂きました！！
姉月です。(何かスミマセン。)

大変恐縮ですが、
今回描かせて頂いた
お姉ちゃん達の紹介を
していこうかと思います。

表紙は
「VOCALOID」の
巡音ルカお姉ちゃんです。

裏表紙は(12時から右回りで)
「ＱＭＡ」の
　　サツキお姉ちゃん
「sola」の
　　森宮蒼乃お姉ちゃん
「あまんちゅ！」の
　　二宮愛お姉ちゃん
「DOG DAYS」の
　　レオンミシェリ・ガレット・デ・ロワお姉ちゃん
「IS」の
　　織斑千冬お姉ちゃん
「夕日ロマンス」の
　　紅夕暮お姉ちゃん
「スイートプリキュア♪」の
　　南野奏お姉ちゃん

…でした！

言いたいことは…
やはり
「姉は最高」です！！！

また表紙を任せて頂いた
総裁さんと、

読んで下さっている同志であろう
貴弟方に、
深い感謝と未来への希望を…！！！
(文章ひど過ぎで申し訳ありません…。ちとテンパってます…。)

P.S. 文章が自信なかったので、
拙いですが四コマ漫画描いてみました。
(こんなお姉ちゃんが欲しい…。という願望)

姉月　2012.11.

本当に申し訳ありません！
コミケには毎回「ギャルゲー（ＰＣ）」ジャンルで参加しているのに、ついにギャルゲー記事がゼロの会報となってしまいました。
それもこれも、自分からゲームする時間を奪い、仕事を押し付けてくる世間が悪いんだもん、ボクは悪くないもん……　と、うなだれる小弟に、「男なら言い訳するな、見苦しい！」と右から叱咤され、「総裁くんは悪くないのよね、お姉ちゃん知ってるわ」と左から慰めてくれる姉妄想を繰り広げて、疲れた心を癒すことしかできません。

話は変わって、先日従妹の結婚式がありました。そんなに親しいほどではない従妹でしたが、小さい頃から知っている子だと、あの新郎に取られたなぁという思いがなんとなく湧いて出たのです。
これが自分の家族ならば、その思いは自分の比ではないはず。そう、結婚した弟を見送る姉だったならば…。ブラコン姉が恐怖の小姑化する心理を覗いた気がしました。
ちなみに、新郎は姉２人を持つ弟だそうで（お前結婚する必要ないだろ！）、その姉たちを観察してみましたが、穏やかな表情でした。あの顔の下にどんな顔が隠れているのか知りませんが。ニヤニヤ……。

私の弟も昨年結婚しました。これが「兄」の結婚なら義姉ができて慰めにもなりますが、義妹なんて言葉には萌える要素がありませんね。長男は不幸だ。
次の望みは、奴が一姫二太郎を実現し、私は伯父さんとして姪っ子甥っ子姉弟を愛でること。そして、仲良し姉弟が登場する絵本や漫画ばかり買ってあげることです。

全姉連会報 第１８号

発　行： 全姉連 総本部（http://www.zenaneren.org/）
発行日： 2012 年 12 月 31 日
著　者： 全姉連総裁
連絡先： so-sai@zenaneren.org
表　紙： 姉月 偲様
印　刷： 株式会社ユリクリエイト様

本書発行に至るまで、全姉連を通じて多くの同志から姉ゲー情報を頂きました。
ここにお礼申し上げます。
本書へのご感想、ご意見、ご質問はお気軽に上記連絡先までお送りください。

全姉連
http://www.zenaneren.org